

## 大学職員の業務における見直しと改善

藤本 正己（山口大学 教育・学生支援機構教学マネジメント室 講師）

笹山 明伸（高知大学 法人企画課 IR・評価室 係長）

### 講師略歴

【藤本 正己】専門は統計科学、高等教育論。2008年に徳島文理大学に大学職員として入職後、情報センターで学内システムの運用・管理の業務、教務部教務課において入試業務を担当。2022年1月に愛媛大学教育企画室特定研究員、特任助教を経て、2023年4月より現職。現在、学内の教学IRに関する業務を中心に大学職員を対象としたSD研修の講師も行っている。

【笹山 明伸】2012年高知大学事務職員に採用。これまで入試課で入試システム・入試実施、総務課で総務業務、2020年4月以降はIR・評価室で主に大学評価業務をそれぞれ担当、2022年8月から現職。

### プログラム概要

大学職員の業務は年々扱う領域が拡大し、高度化・複雑化しています。経験や前例が無い業務を担当することへの不安や、業務量の増加を感じる大学職員もいることでしょう。特に若手の大学職員の中には、日々の業務において課題を抱えているものの、それをどのようにして改善していけばよいのか分からない人もいるのではないのでしょうか。

このプログラムでは、若手の大学職員を対象に日常業務の現状の把握からはじまり、課題の発見、改善案の作成に向けた方法を学んでいきます。

参加者のみなさまには、個人ワークやグループワークなどの活動を通じて、他の参加者とともに日常業務についての振り返りと明日からの改善に向けた行動につながる機会にしたいと思います。

### 準備物・事前課題

- ・指定する「事前のオンデマンド教材」を視聴してください。
- ・日常業務における課題を3つ程度説明（業務内容・現状・課題）できるように準備をしておいてください。

### 主な受講対象者

- ・入職10年目までの大学職員
- ・業務改善に興味・関心のある大学職員

### 到達目標

1. 業務改善の意義と必要性を説明できる。
2. 日常業務を振り返ることができる。
3. 日常業務の課題を挙げるができる。
4. 日常業務の課題の解決案を提案できる。